

平成30年 5月 30日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 加藤 啓子 様

議会報告会 1班
班長 斉藤 真理
藤井 俊行
坂巻 儀一
乾 紳一郎
中川 弘
加藤 啓子
近藤 美保

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成30年5月12日(土)
午前9時30分～午前11時30分
- 2 場所 初石公民館 講義室
- 3 欠席議員 なし
- 4 来場者数 市民来場者 11人
議員・職員 2人
- 5 報告内容
 - 1、平成30年度予算審査における議会共通の指摘要望について
 - (1) 決算審査における議会共通の指摘要望・事項と予算への反映について(平成29年度指摘・要望事項を事例に)
 - (2) 平成30年度予算審査における議会共通の指摘・要望事項について

6 意見交換内容

<議会の予算・決算審議の報告に関連して>

◎(市民) 流山市の市債はどれだけ残っているのか。体育館とか、国が出してくれてない、待っているお金がありますよね、それがどれだけなのか。

(議員) 市債の発行残高は、手持ちに資料がないが、だいたい一般会計で500億ぐらい、特別会計もあわせれば800億くらいかなと記憶している。

(議員) 国の補助金の差額については、後日、調査し回答する。

◎(市民) 議員とか市長の給料がアップしたというのは本当か。それであれば、市会議員として議会にかかる経費を公表されているのか。

(議員) 議員の報酬は、今45万円である。私の場合、そこから、国保料とか年金保険料とか払っている。手取りは30万ぐらい。報酬が上がったというのは、人事院勧告で職員の給与が上がったので、それに準じてということだ。採決では反対の人もいたけれど賛成が多数だったので決まった。期末手当で議員は5万円ぐらいである。

(議員) 国会では1日国会を開くのに経費がいくらかかるという数字が出ているが、そのような資料を流山市議会では出したことがないのでお答えすることができない。

◎(市民) 議会に出す前の予算案を少なくとも公開したらどうか。公民館や出張所においていただきたい。議会を通った後の予算も、公民館や出張所に置いてないが、市民が近くの場所で見られるように、行き届いた配慮をしてほしい。

(議員) 議会上程後に予算案はHP上に公開されている。予算案の段階からHP以外で見られるようにすることは当局と協議をする必要があるので答えられない。HPにアップしているということは公開していることになるので、それを広げるということになると思う。

(市民) 市は必ず「公開している。HPを見てください」というが、我々の年代では困難なことだ。

(議員) 予算案が議員に届けられるのは本会議の4・5日前になる。

(市民) そんな短い期間なら、議員も研究する時間がないじゃないか。

(議員) 議会終了後の予算書について、出張所などに置くようにとのご要望については執行部に伝えたい。

(市民) われわれ、市長や当局にいろいろ要望しているが、それが予算化されたのか知りたいわけで、ぜひ、予算書の公開をひろげるようお願いしたい。

◎(市民) 決算委員会の傍聴をしたことがある。議員は資料を全部持っているが、傍聴者には何もない。色々議論しているが、何をやっているのか、今、どこをやっているのかわからない。今もそんな状態なのか。

(議員) 傍聴者にも決算書を閲覧してほしいということについては検討する。

【補足】報告会終了後確認したところ、監査委員会による決算監査に関する質問であった。監査委員による決算監査時点では決算書は未完成であることから傍聴者への開示は行っておりません。

◎(市民) 予算に関しての監査について議会を代表する監査委員がはいっているが、今後は民間からも登用していくべきではないか。

(議員) 決算監査ということでお答えします。決算の監査は、決算書を作成する途中で監査をやっている。民間の方がということだが、役所の会計は民間と大きく違うので、公認会計士でさえ戸惑うことが多い。監査委員が監査でやっていることをみなさんと共有しながらやるというのは難しいと思う。

(議員) 中核市以上になると包括監査ということでプロジェクトをつかって監査をおこなう仕組みがあるが、一般の市町村ではそれが実施できない。

◎(市民) 国からの借入金については見越しではなくて、見通しでやっていく部分が必要かなと思う。予想外の情勢が今後出てくるわけで、こういうものを考慮した見通しの立つような仕方を考えていただきたい。

(議員) 積立金は前市長の時に約100億円あったものが少なくなってきている。「積立金の目的としているものを造って使ったので減った」というのが今の市長の答弁である。その後、体育館などいくつかのものが必要になるので、それにむけて積み立てを開始したところである。

(市民) 人口が増えているのに積み立ては減ってきている。それでは理屈に合わない。

(市民) 人口が増えていて一人当たりの借金が少なくならなければいけないのに、逆に増えている。どうしたことか。

(議員) 人口が増えるということは、当然、社会インフラの整備は必要になるので、その負担を将来の方にも負担してもらおうというのが執行部の説明である。その説明に納得していない議員もいる。最終的には議決されているので、その点をご理解をいただきたい。

◎(市民) 平成30年度予算の中に今までの財政の積立金はどれくらいあるのか。緊急用の備蓄のお金を当局はどのように考えているのか。マンホールの蓋はきれいなものができていて、そういうのを美化するのもいいけど、もっとお金の使い方について考えていただきたい。西初石の事件は犯人も捕まっていない。市民の安全と財産を守るというところから考えると、防犯灯の増設や防犯カメラがまだまだ足りない、防犯灯の増設も含めた予算のあり方について答えてほしい。

◎(市民) 11月の議会報告会で民設民営学童保育について発言させてもらったが、その後、議会で質問してもらったり、指摘・要望事項ということで、取り上げていただいたことに感謝している。

4月を迎えて色々な保護者から問い合わせがまだまだ続いている。「せっかく流山に引越してきて、保育園も大変だけど、学童ももっと大変になってきているのですね」という話も伺っている。色んなニーズがあるだということを実感している。公設学童を利用している保護者からの不満、公設民営の学童の問題点も聞こえてくる。民設民営の小規模学童にもお力添えをいただきたい。400人の学童が本当にいいのかどうかも含めて議員の方々に考えていただきたい。

(議員) 議会としても公設民営で400名規模の大規模な学童よりも、民間にも補助を出しながらきめ細やかな保育ができるスペースがつけられた方がいいと思っている。

<フリートーク>

◎（市民） 東初石での傷害事件が発生した時、議員の対応はどうだったのか。

（議員） 傷害事件の後、同僚議員と事故の現場を確認した。他の市民からは、この件についても色々指摘をいただいた。監視カメラの充実などについて議会でとりあげていきたい。

◎（市民） 人件費と物件費の違いを知っているか、説明してほしい。

（議員） 職員の給与は人件費に入っているが、臨時職員の給与は物件費に入っている。人件費は少なくなっていると当局は言っているが、臨時職員の人件費は他の自治体に比べてかなり多い。

（市民） 隠れ人件費といわれる臨時職員の物件費は何十億円になるのか。

（議員） 平成30年度予算では臨時職員人件費は850人分で11億円、一人当たり年間132万円ぐらいになっている。

◎（市民） 10年間で議員立法は3本しかできていない。議員立法を出してほしい。また、監査も人を増やさないとだめだと思う。

（議員） 市民の生活がより良くなる条例の案が中々出てこない中で、委員会で条例をつかっていきたいという議論はおこなわれている。同時に、新規条例の制定だけでなく、条例改正の提案も視野に入れながら議案提案というものを考え・研さんしていくことが必要と考えている。

（議員） 監査は2人でやるのは大変なのが実態である。監査の人数を増やすのは一つのアイデアであると思うのでご意見は届けていきたい。

◎（市民） 「広報ながれやま（特集号）」には、「今年これをやります」と書いてあるが、「いつまでに、どこまでやります」とかタイムスケジュールがしっかり書いてないのが多い。わざと書かないのかと勘繰りたくなる。タイムスケジュールのない計画、予算なんていうものはあいまいになる可能性が高いので、市民にわかるようにしてほしい。

（議員） 広報のあり方として議会報告会の中でいただいたご意見として執行部に意見・要

望していく。

◎（市民） 流山市は子育て優先という形とっているが、2人暮らしとか独身者はどういふふうになるのか。

（議員） 今回の報告が子育ての指摘要望が多かったので、説明したが、流山市として色んなことに予算を付けている。「住み続けたい街」ということでやっている。そのうちのどれが独身世帯のことについては色んなところにちりばめられている。実際にはどんなことにお困りですか。

（市民） 一番怖いのが、一人暮らしで体壊して寝込んでいるとか。最悪の場合は孤独死の問題とか心配。あと、悩み事の相談をどこに持っていけばいいのか分からないこと。

（議員） サポートネット流山というNPOがそういう困りごとの相談を受けている。こうして点で流山市が相談事を受けるという仕組みがないように思う。

◎（市民） 自治会の要望を担当課に連絡しても予算がないと言われるが、市議に話をするとなら「わかった。折衝しましょう」というとOKになることが多い。何故最初に市民が担当課に言った時には断っておきながら、議員に要望すると解決するのか。そのあり様はどうなっているのかといつも思う。その辺について議員の方々はどう考えているのか聞きたい。

（議員） 「忖度」があるのかということだと思うが、市議は地域の声をまとめていくというところがあるので多少違うところがあると思う。議員の要望がすべて通るわけではない。地域から受けた要望について調査をして色々関係者の意見も聞いて裏付けをとっていくという点もあるのかと思う。

◎（市民） ぐりーんバスが今回、路線が増えているが、市長の「忖度」でなっているのか、モノサシがどういふ風に動いているのか。

（議員） 28人の議員が地域の要望でまず地元となる傾向があると聞いている。今回の本数が増えたのは賛否両論あって、わたしは、本当に人口が少なく交通不便で困っているところにあつた方がいいと考えるが、採算性があわないということで走らない。交通不便なところは、福祉バスなど考えていきたい。

◎（市民） 市職員体制で、新規の職員をここのところにきて増やしているが計画的に人を育てる必要があると思うので議員の考えを聞きたい。

（議員） 絶対数が足りなくなって、やむにやまれず大量採用しているのが現状である。課長一步手前の層が極端に薄くなっている。組織としての力が出なくなっている実態だと思う。過去に議会で問題点が指摘されたが、市長はその時に「50年先のことを考えている。今、人をとるとその人の生涯賃金が出ないので採りません」と答弁している。

◎（市民） 議会報告会のあり方として、中学生の子どもたちも含めて参加させて、市民が関心を持ってもらいたいと思うがその点について、どう考えているのか。

（議員） 大変貴重なご意見だと思う。年2回16回になるが試行錯誤をしながらやっているが、人数が少ない時もあった。より多くの人数があつまり易い切り口の議会報告会があった方がいいと思う。

（市民） 自治会長に何人来ているのかと思う。自治会長さんが出席するよう議員が促していただきたい。

（議員） 広報広聴委員会でもいただいたご意見をしっかりと検討していきたい。自治会のみなさんへもしっかりと広報するということかと思う。

◎（市民） 流山市にきて40年ほどなるが、こういう形の十太夫になるとは夢にも思っていなかった。その結果が、学校の問題、学童の問題、保育園の問題になっている。子どもの病気の問題で、東葛病院の小児科の医師が退職して大変だということを聞いて、引っ越してきてこれから大きくなっていく子どもたちが安心して生活できるのか心配だ。市長が今もすすめている「住むんだったら流山」という宣伝の費用を小児医療の方に回せばなんとかなのではないかと思う。

（議員） 今、企業誘致については報奨金制度があるが、そういうところにも今後検討していくという思惑もあるようなので、産婦人科・小児科を増やすというのが流山市の方向である。

◎（市民） おおたか地区周辺で交通事故が多発している。信号機やカーブミラーの設置も予算の関係で中々つかない。死亡事故も起きている。右折指示信号の設置等、交通安全対策をすすめてほしい。

◎（市民） 大畔地区で進められている新設小学校と消防本部の移転予定地が隣接しているのではないかと。救急車両の出入りなどがあるが学校への影響はないのか。

（議員） 救急車両が授業を妨げることがないようにと指摘・要望している。

◎（市民） いじめ防止について、PTAの役目、いじめられる子へのフォローと同時に、いじめる側についてのフォローについてどう考えているのか。

（議員） 学校教育におけるいじめ対策については、まだ勉強不足だが、地域の学区で「親父の会」なんかで子どもたちを見守っていくことはできると思う。

7 参加者から議会への要望

◎ 決算委員会の傍聴をしたことがあるが、傍聴者には決算書など資料がなにもない。何を議論しているかわからないので、議論している資料を会場で閲覧してほしい。

◎ 10年間で議員立法は3本しかできていない。議員立法を出してほしい。

◎ 議会報告会のあり方として、中学生の子どもたちも含めて参加させて、市民が関心を持ってもらいたい

◎ 議会報告会での市民の質問や議員さんたちの答えを一般市民にも知らせてほしい。

8 所感

◎ 今回の議会報告会は、今までのように、単に予算の概要を説明するにとどまらず、平成28年度の決算での、議会としての共通指摘要望事項を踏まえ、それが平成30年度予

算にどのように反映しているか、といった視点で行ったことで、議会の役割の一端を知っていただく事が出来たと思う。

参加者の方からが、比較的固定化しつつあるので、より多くの、開催地域の方に来ていただけるよう広報の仕方に工夫をする必要を感じた。

(齊藤真理議員)

- ◎ 一般市民や新規の参加者が少なく、常連の方が他の班会の報告会にも参加して意見を述べるということが多くなっている。今後は参加者を募る方法を考えていく必要がある。例えば、市民グループやサークル、自治会など集まっている会議等に出向いていく出前方式の報告会なども考えていくべきではなでしょうか。

(藤井俊行議員)

- ◎ 今回の報告会では書記に徹していたが、予算審査などに係る質問については、予算委員の人がちゃんと抑えてもらいたいと思う。

今回、特に印象に残ったのが、特定議員を指名して回答を求めるケースが多かったこと。参加者も、いつも参加していただいている熱心な市民が中心だったからかもしれない。

議会報告会が始まった当初は、市民対議会という対決構造が強かったが、積み重ねの中で、ともに考えるという関係性も生まれているように思う。

議会報告会で発言したことを議会も受け止めてくれ行政にも影響を与えられると実感していただいたことは大事で、市民と議会がキャッチボールできる関係を深めていきたい。

(乾紳一郎議員)

- ◎ 今回のテーマは予算審査特別委員会に於ける指摘・要望事項に議会全体の合意事項の内容に関する報告であったが、残念ながら議会全体の合意事項の性質やその内容が十分に市民に伝わったのか疑念が残った。その後のフリートークにおいては市民より様々な意見が寄せられたが、執行部への質問も多く見られ議員が報告する艱難さを感じた。

市民の参加も 10 名少々で 2 時間という限られた時間の中では落ち着いて意見交換のできる規模であると感じた。

また、あくまでも議会主催であることを忘れ、スタンドプレーに走る議員が居り今後の議会報告会の在り方について根本から再考する必要を感じた。

(中川弘議員)

- ◎ 私たち議員は市民の方が直接審議できない事項を選挙で選んでいただき、付託を受け

て審議しています。ですから信頼してもらい安心して議決を任していただけるために日々精進しています。自分に自信があれば胸をはって任してくださいといえるはずで、市政に市民の参加を促す行動をする必要もないと思います。私たち議員は得意であれ得意でなかれ、市政におけるどの分野においてもオールマイティで臨まなければならない、ある分野に精通した市民より知識が浅いこともあるでしょう。毎回議会報告会に来てくださる方はそれぞれ勉強していらっしゃるし、議員にもっとしっかり市政をチェックしてくださいと言っているように思います。そういう意味で今回も闊達な意見がたくさんでてよい議会報告会であったと思います。

(加藤啓子議員)

- ◎ テーマが予算審査特別委員会に於ける議会共通の指摘・要望事項についてであった為か、参加された市民の方々からは議員、市長、副市長の報酬、とくに報酬が増額されたという点など厳しいチェックがなされていた感が伺えた。疾しい点はないのであるからの確に回答していれば良いとは考えるが、同時に市民の方々が納得する報酬に見合った責務を全うしなければいけないとも痛感いたしました。

また、フリートークにおいては個別に「PTA 会長の経験を持つ立場からいじめに関してお答え願いたい」との質問には、現場を離れて久しいがゆえ、的確かつ、十分な回答が出来たかが不安になった事は否めませんでした。質問内容である「同学区においていじめに関する情報の伝達はどのようになされているのか」に関して、後日執行部にお伺いした際の回答では、「小学校から中学校へ進学する際の生徒指導にかかる連携について」として、

- 中学校区毎に、小中学校の教員が日常的に連携しているので、児童生徒の様子を把握する機会は確保されているとの事。
- ・ 小学校の行事に中学校教員が参加し、様子を観察する。
 - ・ 合同あいさつ運動を行い、様子を観察する。
 - ・ 中学校教員が小学校において出前授業を行う。
 - ・ 小中連携会議を行う。
- 小学校から中学校へ進学する際、一日体験入学（半日入学、部活動体験入学などと呼ぶこともある）を実施し（6年生の2月頃）、児童の様子を観察するとともに、6年生の担任と新中学1年生を担当する可能性が高い中学校3年生の担任が情報交換を行う。その際の引き継ぎ内容を元にして、学級編成を行う。
- 新中学1年生の学級編成が終わると、小学校6年の担任に学級編成を再度確認してもらい、懸念事項がある場合は調整を行う。
- との事でした。以上、所感と併せてご報告致します。

(坂巻儀一議員)

- ◎ 今回、決算審査特別委員会と予算審査特別委員会において、全会一致の指摘要望事項について報告を行なった。ご参加頂いた市民の方からは職員給与や公共施設に関する国の補助金などの詳細な部分についての質問が出た。指摘要望事項数が多いため、簡潔にしようとするとう執行部の事業説明のみになりがちだが、今後は工夫をして議会が調査した内容や課題が盛り込んでいけたらさらに良いものになると思う。

(近藤美保議員)